

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月12日	使用開始日																										
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	岡田一幸																									
レジメン名	トラスツズマブ【初回】+XP(アプレビタントカプセル)																											
疾患名	胃がん	対象:	HER2陽性胃がんのみ																									
適応分類	進行再発	適応の備考																										
1コース日数	21 日間	総コース数	コース 催吐性リスク 高度																									
抗がん剤投与量・投与日  トラスツズマブ8mg/kg day1、シスプラチン80mg/m <sup>2</sup> day1、カペシタビン2400mg~4200mg/body 分2経口投与 day1夕食後-day15朝食後																												
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)																												
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			
1	主ルート 点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																							
2	主ルート 点滴静注	生食250mL	1 本 / body	90 分	●																							
		トラスツズマブ	8 mg / kg		●																							
3	主ルート 点滴静注	アロキシ注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																							
		デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																							
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																							
4	主ルート 点滴静注	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																							
		シスプラチン	80 mg / m <sup>2</sup>		●																							
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																												
5	主ルート 点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●	●	●																					
6	経口投与	カペシタビン	9999 mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
		分2 医師の指示通り																										
		(体表面積) 1.36m <sup>2</sup> 未満 1回1200mg/body																										
		1.36~1.66m <sup>2</sup> 未満 1回1500mg/body																										
		1.66~1.96m <sup>2</sup> 未満 1回1800mg/body																										
1.96m <sup>2</sup> 以上 1回2100mg/body																												
day1夕食後-day15朝食後まで服用																												
7	経口投与	アプレビタントカプセル	125 mg / body		●																							
抗がん剤の投与1時間前に服用																												
8	経口投与	アプレビタントカプセル	80 mg / body			●	●																					
分1 朝食後																												
9	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●	●																			
		分2 朝食後																										

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例: Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

このレジメンは、トラスツズマブ初回投与患者に使用する

トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg day1

トラスツズマブの投与時間は、初回投与90分、2回目以降は30分可

トラスツズマブ: 次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。

カペシタビンは、C法で投与する。体表面積にあわせて、day1夕食後-day15朝食後まで服用し、その後7日間休薬

・day2~5のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

・day5のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

アプレビタントカプセル: 各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アプレビタントカプセル: 原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アプレビタントカプセル: 抗悪性腫瘍剤の投与1時間~1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。

シスプラチン: 希釈は生食のみ。

シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。